

第6学年1組 外国語科学習指導案

令和5年11月22日（水）5校時

男子13名 女子12名 計25名

指導者 HRT: 松尾 美由紀

ALT: Christina Higgins

1 単元名 Unit6 Let's think about our food.

2 単元の目標

- 食材を通じた世界のつながりを考え、メニューを発表する語句や表現を身に付けている。活字体の大文字・小文字を理解し、例を参考に発表したい文を書き写すことができる。

【知識及び技能】

- 食材を通じた世界のつながりを考え、メニューを発表する目的や場面、状況などに応じて、学習した語句や表現を選択したり付け加えたりして、発表することができる。

【思考力、判断力、表現力等】

- 他者に配慮しながら、主体的に食材を通じて世界のつながりを考え、メニューを発表しようとする。英語の音に慣れ親しみ、世界や日本についての理解を深めようとする。

【学びに向かう力、人間性等】

3 単元について

○単元観

本単元は、日頃の食生活を題材とし、食材を通じた世界のつながりや食べ物の栄養素などについて、伝え合ったり話し合ったりする表現ができるようにする単元である。日頃、自分たちが食べている食材やその栄養素、産地などに目を向けながら学習することで、題材を自分事としてとらえやすく、自分の食生活について様々な視点で目的と相手意識をもちながら、意欲的にコミュニケーションを図ることができる価値ある単元である。また、食べ物と自分たちとのつながりや、食べ物を通じた日本と世界とのつながりについても、考えを広げたり深めたりすることもできる単元でもある。

児童はこれまで、自分のプロフィールや宝物、自身の夏休みの思い出について、紹介し合う学習を行ってきた。また、自身がおすすめしたい国や地球に暮らす生き物について、紹介し合う学習も行ってきたことから、これまで学習してきたことを生かし、本単元の食生活という自分自身の身近な生活においても、世界とのつながりを実感しながら学ぶことができる構成となっている。

○児童観

外国語学習に関する本学級の児童の実態は、下記の通りである。(単位：人)

	思う	まあまあ思う	あまり思わない	思わない
① 外国語の学習は好きですか。	14	9	2	0
② 外国語を話すことは得意ですか。	0	17	7	1
③ 外国語は大切だと思いますか。	20	4	1	0

本学級の児童は、外国語の学習に対して、「好き」と捉えている児童が多いといえる。しかし、得意かどうかという点については、自信をもって「得意」とはいえず、やや自信をもつことができ

ていない様子が見られる。これまでの児童の様子を見ていても、正しく発音したり、正確に伝えたりできることが「得意である」と捉えている児童が多い。また、正しく聞いたり伝えたりするための語彙量が十分ではなく、その点について不安をもっている児童が多い。そのため、授業の中では、今持っている語彙をなんとかつなぎ合わせて、自分の思いを他者に伝えようと挑戦する前向きな気持ちを育てていけるよう、指導している。

一方、「英語を学習する理由」については、「将来の役に立つから」と答える児童が多く、これからの自分の生活に必要であると感じている児童が多い。また、「外国の人と話したいから」という答えも多く、外国の人とコミュニケーションをとるために必要だと考えている児童も多い。

以上のことから、本単元の学習では、既習の英語表現や新出の英語表現に慣れ親しむことを十分にを行いながら、自分の思いや考えを何とかして伝えようとすることに重きを置き、学習を進めていく。

○指導観

指導に当たっては、家庭科「こんだてを工夫して」の学習と関連付けて、『作ったよ！地産地消！栄養のバランスを考えた一食分のメニューを紹介しよう！』という単元のゴールを示し、児童に見通しをもたせるとともに、目的意識や学習意欲を高める。

単元前半では、ALTやデジタル教科書の発音や各種ゲーム等をもとに、食べたものや日頃食べているものを伝える表現や食べ物の言い方に十分に慣れ親しませ、児童が自信をもって発音できるようにする。また、食べ物の産地や栄養素についても表現できるように、タブレットを用いて調べたり家庭科の学習を想起させたりしながら学習を進めていく。

第5時では、自分で考えて、実際に家で作った一食分のメニューの写真をもとに、一食分のメニューのスライド資料を作成させる。また、スライドをもとに、食材の栄養素や地産地消を考え、どこで採れた食材か等が伝わるようなスライドを作成させ、それを英語で伝えることができるように指導していく。

本時では、自分が作った一食分のメニューを紹介し合うことを **Main Activity** とし、話す時や聞く時のポイントを自分で選ばせて意識させ、目的や状況に応じて自分なりに表現できるようにしていく。また、発表を聞く際には、お互いの一食分のメニューの良さを認め合うことを視点として、栄養素や家族への思いにも注目するよう指導する。

単元終末では、外国から来る食べ物について、自給率や地産地消等の視点から日本や世界の食糧事情についても知ることができるようにしていく。

また、単元を通して、テーマを明確にした **Small talk** を繰り返し行いながら、既習事項を用いて自分らしく、何とかして自分の考えや思いを伝える資質や能力、意欲を高めていきたい。そうすることで、児童の実態や課題に応じた、本校高学年の研究のテーマに迫る学習ができると確信する。

【言語活動の設定】

自分で作った一食分のメニューを伝えるために（目的）、作ったメニューの内容を紹介し合い（場面）、お互いのメニューの良さ（栄養素や食材の生産地など）を認め合う（状況）ことで、目的意識や相手意識をもちながら、自分の思いを生き生きと伝え合う児童の育成につながると考える。

4 取り扱う言語材料

【表現】 What did you eat for ~ ? I ate ~ . I usually eat ~ . The ○○ is from … .
○○ is in the … group.

【語彙】 食べ物 (rice、salad など)、食事 (breakfast など)、食材 (pork、beef など)、
果物・野菜 (broccoli、grapes など)

5 単元計画 (全8時間) 本時6 / 8

時	目標と主な学習活動	知識・技能	思考・判断 表現	主体的に学習に 取り組む態度
1	食べたものやそれらの産地についてのやり取りのおおよその内容を理解する。	(聞)		
2	食べたものやそれらの産地、値段についての英語表現を知る。	(聞)		
3	食べ物とその産地について伝え合う。	(や)	(や)	
4	食べ物がどの栄養素のグループに入るのかについて伝え合う。	や	や	
5	自分が考えた一食分のメニューをスライドで表現する。伝える内容を考える。		(発)	(発)
6	スライドをもとに、自分が考えた一食分のメニューを発表する。【本時】		発	発
7 ・ 8	日本と世界の食糧事情について考え、世界と日本の文化に対する理解を深める。	聞		聞

単元のゴール…作ったよ!地産地消!栄養のバランスを考えた一食分のメニューを紹介しよう!

6 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
聞くこと	<p><知識> I ate ～ . I usually eat ～ . The○○ is from … . ～ is in the … group.およびその関連語句などについて理解している。</p> <p><技能> 食材を通じた世界のつながりなどについて聞き取る技能を身につけている。</p>		<p>世界と日本との関係を知るために、食材を通じた世界のつながりなどについて、短い話の概要を捉えようとしている。</p> <p>外国語の背景にある文化に対する理解を深めるために、海外の国について、短い話の概要を捉えようとしている。</p>
話すこと〔やり取り〕	<p><知識> I ate ～ . I usually eat ～ . The ○○ is from … . ～ is in the … group.およびその関連語句などについて理解している。</p> <p><技能> I ate ～ . I usually eat ～ . The ○○ is from … . ～ is in the … group.およびその関連語句などを用いて、お互いの考えや気持ちを伝え合う技能を身に付けている。</p>	<p>栄養のバランスを考えて作った一食分のメニューを友達に伝えるために、食べ物の栄養素や産地、値段などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、お互いの考えや気持ちなどを伝え合っている。</p>	
話すこと〔発表〕		<p>栄養のバランスを考えて作った一食分のメニューを友達に伝えるために、使用した食材やその栄養素、産地などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを話している。</p>	<p>栄養のバランスを考えて作った一食分のメニューを友達に伝えるために、使用した食材やその栄養素、産地などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、自分の考えや気持ちなどを話そうとしている。</p>

7 本時の学習（6/8）

（1）目標

自分が作った「一食分のメニュー」について、その特長がわかるように伝えることができる。

【思考・判断・表現】

（2）本時の視点

自分が作った「一食分のメニュー」を紹介するという場面を設定し、その特長（栄養素や産地など）を伝える活動を取り入れることで、児童が目的や状況に応じて表現を考え、工夫してコミュニケーションをとることができたかを検証する。

（3）展開

過程	児童の活動	教師のかかわり・指導上の留意点		
時間	学習活動	HRT	ALT	備考
Warm up ⑦	1 Greeting ○あいさつをする。 気分、天気、曜日、日付、時刻を答える。 2 Let's chant ○Are you hungry?を歌う。	○一緒にあいさつをする。 ○児童が意欲的に活動できるよう励ましながら、一緒に発音する。	○児童とあいさつを交わし、気分、天気、曜日、日付、時刻を尋ねる。 ○児童が意欲的に活動できるよう励ましながら、一緒に発音する。	
	3 Today's Goal ○本時の課題をつかむ。	○単元のゴールを確認し、本時の課題を児童につかませる。		
Main act I ⑩	Unit Goal 作ったよ！地産地消！栄養のバランスを考えた一食分のメニューを紹介しよう！			
	Today's Goal 自分が作った一食分のメニューをその特長がわかるように工夫して紹介しよう。			
	4 Activity① ○カードゲームのやり取りで使う英語表現を確認する。	○カードゲームのやり取りの流れと使用する英語表現を全体で確認する。	○英語表現の手本を示す。	食材カード
★POINT・・・Clear voice、 Reaction				
A : ○○is in the ○○group. B : Where is the ○○ from? A : The○○ is from □□. B : How much is it? A : It's ○○ yen. B : That's right. (Nice./ Try again.)		① カードを引いて、その食材の栄養素を答える。(A) ② 産地や値段を尋ね(B)、答える(A)。 ③ AとBを交代して、質問側と解答側を行う。		

5 Activity②

- デモンストレーションを聞き、見通しをもつ。
- グループになり、自分が作った一食分のメニューを紹介する。

- 机間巡視を行い、やり取りができていないか確認し、表現の仕方で困っていたら助言する。
- 複数名を指名し、やり取りをさせ、やり取りの良さを賞賛する。
- ALTとともにデモンストレーションを行い、児童に見通しをもたせる。
- 発表する側と聞く側のPointを決めさせる。

- 机間巡視を行い、やり取りができていないか確認し、表現の仕方で困っていたら助言する。
- 一緒にゲームに入って活動する。
- HRTとともにデモンストレーションを行い、児童に見通しをもたせる。
- Looks delicious!やI want to try it(eat)!の発音を担当する。

★POINT・・・[発表者] ex:Gesture、Clear voice [聞き手]

A:This is my original menu!
 Rice & miso soup & grilled pork with ginger & spinach with sesame paste.
 My father likes Grilled pork with ginger.
 I used rice, tofu, wakame, pork, onions, and spinach.
 Rice is in the yellow group.
 Pork is in the red group.
 Onions and spinach are in the green group.
 It was very tasty.
 Thank you for listening.
 B:Where is the pork from?
 A:The pork is from Shimabara.
 B:That's nice.
 B:How much is it?
 A: It's ○○ yen.
 B:Wow, good price!
 A:You can make it too.
 B:Thank you.

- ① 自分のスライドをもとに、一食分のメニューについて紹介する。
- ② 食材や栄養素のグループを紹介する。
- ③ 食材の生産地を尋ね、答える。
- ④ 食材の値段を尋ね、答える。

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">Looking back</p> <p>⑦</p>	<p>○聞き手は、発表を聞いた後、質問を一つ行い、感想を伝える。</p> <p>6 Looking back</p> <p>○本時の学習の振り返りをする。</p> <p>7 Goodbye</p> <p>○終わりのあいさつをする。</p> <p>Let's finish. See you next week.</p>	<p>○やり取りを動画で撮影させる。</p> <p>○表現の仕方に困っている児童に対して、助言する。</p> <p>○数名の児童に発表させる。1対全体でやり取りをさせる。</p> <p>○やり取りの中での良さを褒める。</p> <p>○振り返りシートに本時の学習の振り返りを書かせ、発表させる。</p> <p>○次時の活動を伝え、本時の授業の終わりを伝える。</p>	<p>○机間巡視を行い、表現の仕方に困っている児童に対して、助言する。</p> <p>○児童の頑張りを称賛する。</p> <p>○授業を通しての児童の頑張りを称賛する。</p> <p>○一緒にあいさつをする。</p>	<p>タブレット 評価 【思】 【主】</p> <p>振り返りシート 評価 【思】 【主】</p>
--	---	---	--	---

(4) 評価

自分が作った「一食分のメニュー」について、その特長がわかるように伝えることができたかを行動観察や動画、振り返りカードで評価する。 【思考・判断・表現】

(5) 板書計画

Unit Goal 作ったよ！地産地消！栄養のバランスを考えた一食分のメニューを紹介しよう！		
Today's Goal 自分が作った一食分のメニューをその特長がわかるように工夫して紹介しよう。		
<p style="text-align: center; border: 1px solid black; display: inline-block;">Activity①</p> 栄養素 産地 (from) 値段 <p style="border: 1px solid black; display: inline-block; margin-top: 10px;">食材等の絵カード</p>	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; display: inline-block;">Activity②</p> <p style="border: 1px solid black; display: inline-block; margin-bottom: 5px;">特長が分かるように</p> 1 メニュー 2 食材 3 栄養素グループ <p style="text-align: center; border: 1px solid black; display: inline-block; margin-top: 10px;">Reaction point</p> [発表者] Gesture、 Clear voice [聞き手] Reaction	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; display: inline-block;">Looking back</p>